

地方公共団体の基幹業務システムの標準仕様 における帳票要件の標準について

令和 3 年 8 月

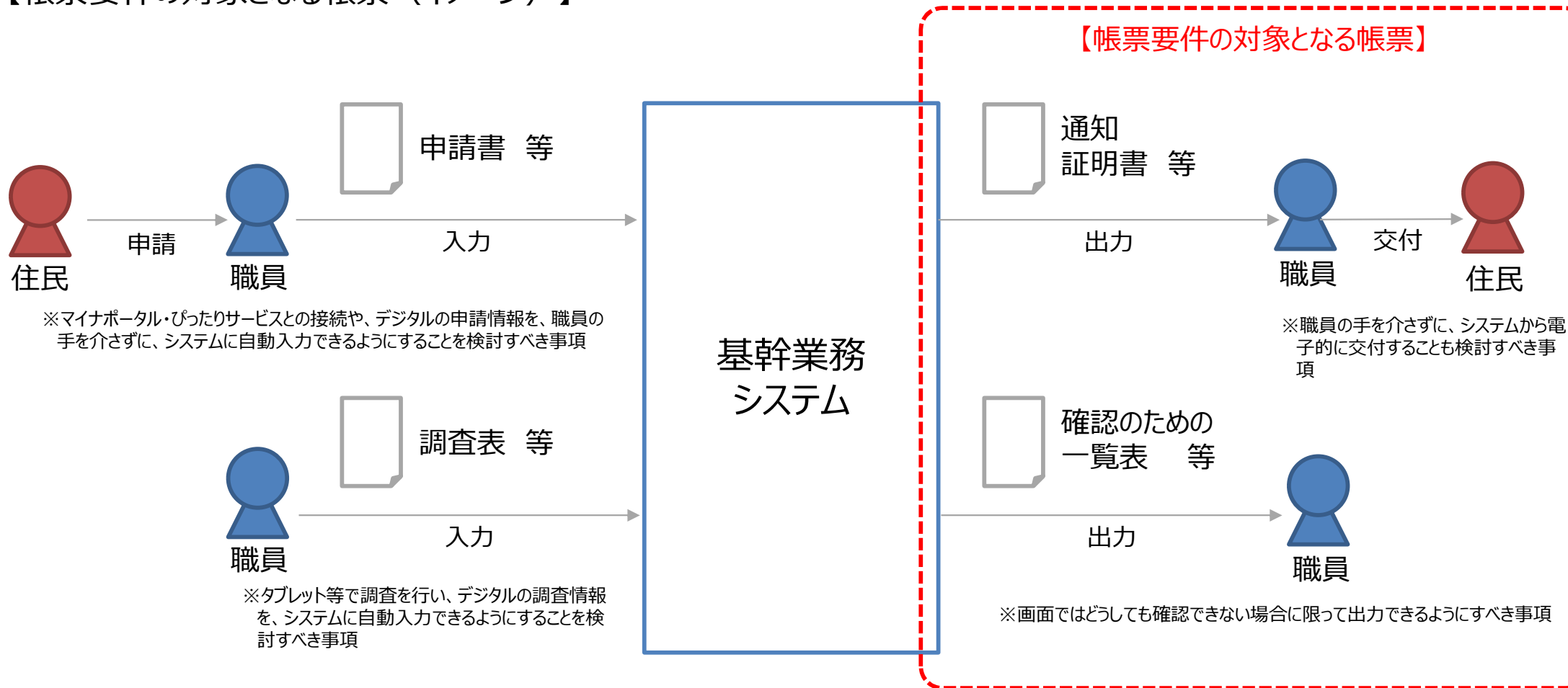
加筆修正：令和 3 年 9 月 2 2 日

デジタル庁

帳票要件の対象となる帳票

- 帳票要件の対象となる帳票は、システムから出力する帳票・様式であり、主に、住民向けの帳票・様式（通知・証明書等）と、職員向けの帳票・様式（確認のための一覧表等）がある。
- これらの帳票は、既に外部システムからの要求等でカスタマイズの主要因となっていない帳票・様式等を除いて、標準を定める。

【帳票要件の対象となる帳票（イメージ）】



帳票要件の標準として定めるべき事項

- 帳票要件の標準として、(1)帳票のレイアウト、(2)帳票の諸元表、(3)帳票IDの3点を最低限定める必要がある。
※ (1)帳票のレイアウトを定め、当該帳票レイアウトを基に要素を分析し、(2)帳票の諸元表を定め、(3)帳票IDを振ることになる。
- (1)帳票のレイアウトが標準化されていない場合は、カスタマイズの発生原因となるため、標準を定めることを基本とする。
- 制度所管府省が策定した(2)帳票の諸元表を参考に、デジタル庁がデータ要件の標準を策定する。(2)帳票の諸元表に記載されている項目は、データ要件と整合性を保つ必要があることから、最終的に、調整が必要となることに留意していただきたい。
- (3)帳票IDは、帳票の管理や電子的な交付等を行う際に必要であり、統一的なIDの振り方は、デジタル庁から後日お示ししたい。

【帳票要件の標準として定めるべき事項】

(1)帳票のレイアウト

- 住民票の写し（日本人住民）のレイアウト

住民票

氏名	個人番号
	住民票コード
旧氏	生年月日
世帯主	性別
続柄	住民となった年月日
住所	住所を定めた年月日
	届出日
本籍	筆頭者
私人的住所	
***	***
***	***

この写しは、住民票の原本と相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

(2)帳票の諸元表

記載語元 【20、1、1 住民票の写し】

1. 項目・記載内容

項目	標準名	項目名	内容	桁数(振り出し)	振り出し	型	範囲/項目	文字コード	拡張・山	拡張・右寄せ	文字幅内の対応	住民票に記載がない住民票の写し	標準フォーマットサイズ(11)	標準フォーマットサイズ(11)	その他記載条件
1	住民票の写し	タイトル	「住民票」と記載	1	無	全角	5	JP10451	—	0体	—	—	11	—	—
2		【印欄】	横断は空白、公理経理用での発行の場合は【印欄】も記載	1	無	全角	4	JP10451	—	0体	—	—	11	—	—
3		氏名	日本人の場合は【日本人名(日本人)】、外国人の場合は【外国人名(外国人)】において記載	1	有	本人氏名型	20/3	JP10451	—	左	□	【印欄】	11	—	—
4		個人番号	先頭から「4桁+△+4桁+△+8桁」で記載	1	無	全角	14	JP10451	—	左	—	【印欄】	11	—	—
5		住民票コード	先頭から「4桁+△+4桁+△+3桁」で記載	1	無	全角	13	JP10451	—	左	—	【印欄】	11	—	—
6		旧氏又は通称漢字	日本人の場合は「旧氏」、外国人の場合は「通称」と記載	1	無	全角	2	JP10451	—	0体	—	—	11	—	—
7		旧氏又は通称	日本人は「旧氏」、外国人は「通称」を記載	1	無	旧氏・通称	20	JP10451	—	左	□	【印欄】	11	—	—
8		生年月日	日本人の場合は【生年月日(日本人)】、外国人の場合は【生年月日(外国人)】において記載。下記の欄は生年月日	1	無	日付型	11	JP10451	無効/両端	左	—	—	11	—	—

2. 属性

項目	標準名	標準サイズ	型・種	書式(上)	書式(下)	書式(他)	記載可能な人数	以下での記載	記載数の振り	日付中の抽出	読取対象	公開範囲	公開範囲	発行単位	同一発行内の発行単位	印刷形式の同時発行	印刷形式の同時発行
1	住民票の写し	※3(※2参照)	紙	11	5	13	5	1	—	有	有	有	有	住民票又は一筆	住民票の全発行単位	有	1.2
2	2枚目以降	※3(※2参照)	紙	11	5	13	5	1	—	有	有	有	有	住民票又は一筆	住民票の全発行単位	有	1.2

※：横断はメモリのありはインデックス。選定欄は必ずしも必ずしも。記載条件の記載がない場合は「—」を記入する。

(3)帳票ID